

# 市議会だより

2021. 1. 20  
12月定例会  
No.88



特集 事業評価 …… 2P~3P  
議長新年あいさつ …… 4P  
一般質問 …… 4P~11P  
議案等審議結果 …… 11P~12P

委員会審査報告 …… 13P~14P  
議員研修報告ほか …… 15P  
議会トピックス・編集後記 …… 16P



市議会  
ホームページ

# を提出しました!

駒ヶ根市議会では、毎年、市が実施している事業の目的や内容などを確認し、現状や課題、効果や方向性などについて評価し、要望・提言書を提出しています。



## 総務産業委員会

抽出テーマ

### 「6次産業化事業」「テレワーク推進事業」

農業を取り巻く環境が大きく変化する中で、雇用確保や所得の向上が期待される「6次産業化事業」と新型コロナウイルス感染拡大の影響により注目されている「テレワーク推進事業」をテーマに抽出しました。



# 8月

駒ヶ根市で進めている6次産業化事業（信州ごま、二条大麦、あんぼ柿、桑）に関連する圃場や施設を視察しました。



中沢地区のごま圃場。信州ごまは非常に香り高いのが特徴。現在は、県内外に広く流通しています。

提出した「要望・提言書」の詳しい内容は、駒ヶ根市議会ホームページからご覧いただくことができます。

駒ヶ根市議会 要望

検索



スマートフォンは  
こちらから →



商品化されている絶品の「あんぼ柿のフロマージュ」と「あんぼ柿アイス」



マルス信州蒸溜所では、地元三条大麦を使った地ビールやウイスキーが作られています。



東伊那地区の桑圃場。桑パウダーを活用したお菓子などが商品化されています。

駒ヶ根テレワークオフィス「Koto」を視察しました。



ここでは、企業からの依頼に基づき文書作成などを行っています。

# 10月



都内などにあるフォトスタジオの受付部門が駒ヶ根市に来ました。

# 駒ヶ根市の事業に関する要望・提言書

障がいのある方などにとっての働く場となっている「福祉企業センター」を視察しました。

8月

## 教育民生建設委員会

抽出テーマ

### 「福祉企業センター事業」

福祉企業センターは障がいのある方・高齢者などにとっても働く場であり居場所となっている施設です。しかし、老朽化が大きな課題となっておりテーマとして抽出しました。



企業からの依頼に基づき、お菓子や玩具などの装飾品、電気部品の組立作業などを行っています。



障がいのある方の自立を目指している民間施設「アンサンブル駒ヶ根」を視察しました。

12月



市長へ提言書を提出

要望・提言まとめ

薪ストーブや暖炉、焚火用の薪を作っています。



長野県産の小麦粉と卵、伊那谷産の蜂蜜を使った「ガステラ」が人気です。



# 新年のごあいさつ

駒ヶ根市議会議長 三原 一高



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えにいられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営・議会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、春から新型コロナウイルスの影響で事業の変更や数々の行事を取りやめになり、戸惑いを感じる一年でした。しかし、これ乗り越え、さらに新しい体制を構築していかなければならないと思います。今年は丑年です。もともと十二支は植物が循環する様子を表していますが、丑は十二支の2番目、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれています。

市議会といたしましても、市民の中に入り、皆さまの声をお聞きし、市執行部と互いに知恵を出し合って、将来を見据えたまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。また、市行政事業の評価をし、要望、提言を議会として行い、より良い市づくりを進めてまいります。

昨年、市長が替わり1年が過ぎました。新執行部も方向が固まったものと思います。議会としても執行部との取り組みにも変化があるものと考えます。

市民の皆さまの積極的な参画をお願い申し上げます。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつと致します。

令和3年1月

## 議員 13名 市政を問う

- ホームページでもご覧いただけます。
- 各議員QRコードよりYouTubeでもご覧いただけます。

### 《一般質問項目》

- 塩澤 康一
- 当市から経済インフラがなくなることの影響は
  - つれてってカードポイント10%還元総括は
  - 「天下の糸平」石碑を移設する考えは
- 竹村 知子
- 産学官連携推進事業の今後の展開は
  - 介護保険利用の中で施設利用の割合が高い現状は
  - 活動量計を法人へ提供、自殺対策行動計画の実効性は
- 池田 幸代
- 災害時住民支え合いマップ活用強化について
  - コロナ禍での女性の貧困や自死防止策について
  - 猿害対策の追い払いに犬の活用について
- 小林 敏夫
- 山林を守る条例制定をしては
  - 有害鳥獣駆除従事者人数増への取り組みは
- 竹村 誉
- 第8期介護保険事業計画と保険料額は
  - 移住希望者の期待に応える支援策の充実は
  - 稲作再生施策と、安心して産み育てられる環境整備は
- 氣賀澤葉子
- 移住・定住・関係人口の増加を目指す事業の見直しは
  - 自主防災会で避難所を開設する時の課題について
  - 女性の担うケア役割への考えは

- 宮下 稔
- リニアバレー構想実現プランへの対応は
  - かっぱまつり花火大会を市民花火大会にしては
  - ICT教育推進の目的と課題への対応は
- 池上 善文
- 駒ヶ根高原再整備計画に関連して
  - 市内にある特定空家について
- 小原 茂幸
- コロナ禍におけるサービス業界の実態は
  - 人づくりに関しての考えは
  - 行政サービスの一元化の考えは
- 中島 和彦
- 暮らしの中に楽しみを見いだす「生涯活躍のまち事業」にするには
- 小原 晃一
- 新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題は
  - 花卉・野菜・果樹栽培農家への支援策について
  - 雪害対策の現状と課題について
- 加治木 今
- 当市独自の国際化、生涯活躍のまちづくりの進め方は
  - 子育て王国駒ヶ根を目指して特徴ある支援は
  - 職員の専門性を高めることへの考え方は
- 松崎 剛也
- 小中学校のICT教育のこれからは
  - インフルエンザ予防接種への補助金断念の経緯と代案は
  - 財政再建と安全確保の両立は
  - リニアルート再考の提案は

一般質問は、エコーシティー・駒ヶ岳でも放送しています。

一般質問項目の内容が、全て記事になっているとは限りません。



赤穂高校商業科3年の「やっちゃんえブライダル」は地域の熱い思いに支えられている。企画～実行までの様子をCEKが取材し作成した番組は、第46回日本ケーブルテレビ大賞番組アワードの最優秀新人賞に輝いた

**問** 当市にブライダル関連業がある場合とない場合では、18億6千万円が当市に入ってくるか、出て行くかということになる。移住・定住や少子化対策にもつながる。これに代表されるように、当市の経済インフラがなくなってしまう可能性を市長はどう考えるか。

**市長** ブライダル協会は「駒ヶ根高原Ⅱ幸せの森」のイメージ定着化を進め、観光振興や移住促進など地域経済の牽引役を果たす。失われれば損失は大きく、再構築も容易でない。さまざまな事業者の現状を把握し、今後とも施策を講じる。

**市長** 事業前の12ヶ月間と比べプリペイド利用額は14・6倍。カード全体の売上は3・9%増。経産省発表では、小売売上平均は4・7%減。事業費の970万円を差し引き2千600万円の費用対効果があった。

**問** ポイント5%でも地域内循環、経済活性化に非常に有効だ。継続する考えは。

**市長** 組合や飯島町、中川村と協力の必要がある。それぞれと協議して検討する。

**問** 「天下の糸平」石碑の移設に80万円と試算。シルクミュージアムや他の場所に移す考えは。

**市長** 移転先はどこがふさわしいのか、あるいは移転そのものについてどう考えるか検討したい。



塩澤 康一 議員

**問** 経済インフラがなくなることの影響は  
**答** 損失は大きく、再構築も容易ではない



竹村 知子 議員

**問** 特別養護老人ホーム待機まちはの対応は  
**答** 社会福祉法人に増床の働きかけをする



千寿園



エーデルこまがね



観成園



かがやき

駒ヶ根市内の特別養護老人ホーム

**市長** 40代50代の働き盛り世代へのアピールが目的。来年度から市内事業所が活動量計を使った健康づくり事業「こまがね健康ステーション for ビジネス」を始める。保健師の訪問指導を行い、来年度末までに100人の登録をめざす。働き盛り世代の健康増進や重症化の予防は、国保の医療費抑制につながる。



池田 幸代 議員

**問**

市民参加の災害時支え合いマップ作りは

各自治組織で作成する現状維持の方針



**問** 日常的な児童・高齢者への見守り活動から災害時の避難要支援者へのサポートまで用途が広く、活用できる「災害時住民支え合いマップ」の更新状況を市で確認すべきでは。

**市長** 区長や民生児童委員へ同意のある要支援者の情報を提供し、地域の判断でマップを作成するため、現

時点では、市が確認する必要はないと考えている。

**問** 防災意識を高めるために過去に市内で行われていた防災・支え合いマップ作り出前講座を再開し、住民参加のマップ作りを進められないか。

**市長** 各区から要請があれば、駒ヶ根市社協と地区社協で開催してもらう。

**問** コロナ不況下で急増する女性の貧困化や自死抑止のため、女性相談窓口強化やSNSでの情報発信は。

**市長** 相談窓口の多様化は、有効な手段だと認識するが、市単独での開設は難しい。

**問** 義務教育や社会教育で社会保障制度の使い方や解雇などの労働問題への対応方法などを提供しては。

**教育長** 小学6年の社会科と中学3年の公民で社会保障制度については学ぶが、実際の制度利用方法までは学んでいない。社会人については、市HPなどで相談窓口などの周知をしていく。

**問** 猿被害が市内で多発し追い払うために犬を活用してはどうか。

**市長** 住宅地、観光地では犬が対応できるかなどさまざまな判断が必要である。



飯島町の果樹園でも、猿などの野生動物の追い払いに犬が活躍している



小林 敏夫 議員

**問**

山林売買に条例で網かけを

さまざまな制度により乱開発から守れる



**問** 全国各地で、外国人との山林売買事例があり、水源地としても心配がある。山林の場合は面積の制限もない。平成24年4月以降、森林の土地所有者となった者は、市町村への届け出が義務付けられたが、事後の届け出ですでに手遅れである。誰がどのように買っても開発行為に歯止めをかけるには条例で守るしかない。後手に回らないためには条例で網かけをしておくべきでは。

**市長** 上伊那地域の水源保全については、上伊那の水資源を保全するための連絡会議を設置し取り組んできた。県では平成25年3月に長野県豊かな水資源の保全に関する条例が制定された。

**問** さまざまな制度により山林における乱開発から守れることになっている。

**問** 猟友会メンバーは高齢化しており、今後有害鳥獣駆除にも都度の対応が難しくなってくる。狩猟免許取得などに補助金を出しても若者従事者確保が必要では。山林近くの猿追い払いについては、各地区での対応も考えてほしいと言われているが、農作物の被害状況は。

**市長** 狩猟免許取得に対する補助金については、半額程度を補助する制度を創設したい。猿被害に対しては、上在地区営農組合において対策チームをつくる話が出ており、市も支援していきたい。昨年度被害額は、果樹202万円、水稲109万円、野菜40万円であった。



猿の檻を管理する猟友会員のみなさん



米の生産数量大幅削減により、心配される  
来年度の作付け

**市長** 支援策の必要性は強く感じている。子育て現場の意見を伺い、若い夫婦の出産子育てを後押しする施策に取り組んでいきたい。

**市長** 数量、面積共に生産数量目安値の減少幅は前年の2・5倍となり例年以上に大変厳しい数字となる。

**問** 新型コロナウイルスの影響で、生活不安が増し、妊婦届け件数の減少が課題。コロナ禍、当市の「少子化対策」をどのように考えているのか。

**問** 来年度、介護保険料額の見直しの時期を迎えるが、コロナ禍で生活実態が大変な中、引き上げるべきではない。来年度以降3年間の介護保険料の設定をどのように見込んでいるか。

**市長** 介護保険料について、現時点では被保険者数、介護認定者数、介護サービス量の推計および基金残高からすると第7期と同額程度になるものと見込んでいる。

**問** コロナ禍をきっかけに、場所にとられない働き方が進み、地方へ移住希望者が増えている。市への移住希望、問い合わせの状況は。

**産業部長** 今年4月からの電話やメールなど資料の請求件数は30件(18件増)。市で窓口相談に応じた件数は

74組107人(13組11人増)。仕事や住まいの具体的内容が多く、移住への真剣さがかがわれる。

**問** 21年度産米の生産数量の大幅削減が懸念。当市も前年度比で100トン減、面積換算で18ヘクタールの作付面積減少の見通し。市内稲作農家の影響は。

**市長** 数量、面積共に生産数量目安値の減少幅は前年の2・5倍となり例年以上に大変厳しい数字となる。



自主防災会による避難所開設訓練

**市長** 女性と子どもの視点を充分に入れて、市政に取り組んでいきたい。

**問** 家事・育児・介護というケア役割が女性に偏り、雇用や生活面で課題が多い。「未来を創るのは女性と子どもである」という考え方を社会で醸成し、常にこの視点を施策に反映しては。

**問** 地方への移住に関心が高まっている今、情報発信など事業見直しが必要では。

**市長** ふるさと回帰支援センターのブース出展は見直しを検討。若い世代の関心を引くオンラインセミナーなどの工夫、移住者のリアルな声を移住事業に反映するなど、見直しを進める。

**問** スタッフ態勢の検討、

事業に携わる人材の確保・育成をどう進めるか。

**市長** セミナーの企画・運営や情報発信などに、職員だけでなく、信州駒ヶ根暮らし推進協議会やさまざまな方の力を活用していく。

**問** 各地区の自主防災会が指定避難所を開設・運営するにあたり、情報・物資のやりとりなど連絡調整面で

曖昧な点があるのでは。

**総務部長** 連絡調整はきわめて重要であるので、連携がより深まるよう努める。

**問** 避難所運営マニュアルだけでは理解しづらい、資機材の配布・区の備蓄・避難所建物の安全チェックなど個別に確認し、防災訓練に活かしては。

**総務部長** 各区長や防災リーダーの皆さんと情報を共有し議論する中で、よりよい方向を検討する。

**問** 家事・育児・介護というケア役割が女性に偏り、雇用や生活面で課題が多い。「未来を創るのは女性と子どもである」という考え方を社会で醸成し、常にこの視点を施策に反映しては。



竹村 誉 議員

**答** 第7期と同額程度と見込んでいる

**問** 第8期介護保険料額はどのようになる



氣賀澤 葉子 議員

**答** 移住・定住促進に携わる  
スタッフ態勢は  
活躍できる人材の確保・  
育成を図る





リニア駅とのスムーズな接続が望まれる飯田線  
(駒ヶ根駅)



宮下 稔 議員

**問**

リニアバレー構想実現プランへの対応は

2次交通は重要課題。DMOは見直す



**問** リニア飯田駅と上伊那をつなぐ2次交通や市内を結ぶ3次交通について市長はどう捉えているか。飯田市長は飯田線接続新駅の見直しを公約しているがどう対応するのか。

**市長** 2次交通は非常に重要な課題。県に早急に具体化を進めるよう求めている。高速バスと鉄道が軸になる。

市内の結節点は駒ヶ根IC・駒ヶ根駅・スマートICと想定される。3次交通は2次交通を踏まえ民間事業者と意見交換して検討していく。新駅は伊那谷自治体会議の場で議論していく。

**問** 伊南DMOの設立を延期した。今は何をどう検討しているのか。根本的な見直しを考えているのか。

**市長** コロナ禍で観光事業者が大きな変革を求められている。コロナ前の計画のまま進めることは難しい。設立準備会は焚火コミュニティセッションなど新たなコンテンツ作りに取り組んでいる。伊那路、木曾路エリアなど広域観光の役割分担を含め、伊南DMOの枠組みの見直しなどあり方を立ち止まって再度検討したい。

**問** ICT教育の目的は何か。教員のスキルに課題があるといわれるが克服策は。

**教育長** 子どもの情報活用能力の育成、教科学習の習熟度向上、校務効率化による学習指導の充実が目的。教員のスキルは不十分であり、県や市の研修会などで指導力向上を図る。国が認める民間のICT支援員も配置していきたい。

ICT教育の目的は何か。教員のスキルに課題があるといわれるが克服策は。



池上 善文 議員

**問**

駒ヶ根高原再整備計画実現への覚悟は

財政状況を見て早い段階の事業化を



**問** 駒ヶ根高原再整備計画グラウンドデザイン(案)作成は包括連携協定を締結しているモンベルへ委託したと考えてよいか。そしてその費用総額は。

**市長** モンベルの子会社ネイチュアエンタープライズへ委託した。平成30年から令和2年迄で総額761万5千円である。

**問** 駒ヶ根ロープウェイだけに頼らない新たな観光地づくり、満足度の高い観光地を目指すとするが具体的な内容は。

**市長** 国定公園としての魅力、雄大な山々など他には無い資源を有効に活用したい。ICTによるテレワーク、ワーケーションの長期滞在の促進、観光産業で稼

ぐ力を高める。癒しと健康の新たな観光スタイルを目指し、できる限り早い段階の事業化への検討を行う。

**問** 駒ヶ根ファームスのキーテナントJ.Aシヨップが来年3月末撤退とある。引き続き入居を希望されている企業については。

**市長** みやげ品を中心に複数の企業から希望がある。現在調整中であり早急に進める。

**問** 平成27年5月「空家法」が全面施行された。現在市内にある特定空家は1件であり、倒壊など著しく危険な状態である。行政代執行法の定めるところにより強制執行をすべきでは。

**市長** 市民の安心安全が最優先である。現場を見たが危険な状態。できる限り希望に添えるよう取り組む。



高原再整備計画拠点施設となる駒ヶ根ファーム周辺



河川・水路は、建設課と農林課が担当しており、窓口の一元化が求められている



小原 茂幸 議員

**問**

河川・水路における窓口の一元化は

各部署で調査し情報共有し対応している



**問** 河川・水路は、建設課と土地改良区を担当する農林課との所管である。窓口の一元化はできないか。

**市長** 河川は建設課、農業用水路は農林課の担当である。最初に相談を受けた窓口が現場の確認と担当部署を確認し、互いに情報を共有し対応しており、既にワンストップ窓口の形となっている。

ている。

**問** 農林課の所管であるシルクミュージアムは、シルク

の歴史、組合製系の歴史、龍水社の産業遺産、生物学からのカイコなど、文化面からのカイコなど、文化面教育面において価値の高い施設である。教育委員会とシルクミュージアムとの一元化、連携に関する考えは、**市長** シルクミュージアム

は東伊那農業公園の中核施設である。地域活性化の総合交流施設であり、教育委員会が所管する文化施設とは異なる。問い合わせなどは直接、施設に寄せられ、利用に関する件で市民からの苦情はなく、一元化の必要はないものと考えている。

**問** 平成30年、政府は人づくり革命基本構想を提案した。まちづくりは人づくりといわれているが、市長の考えは。

**市長** 地域人材の発掘、育成は地域発展に繋がる。特に高校生など若い世代への取り組みが重要。また、生涯活躍のまち構想において、学びや交流の場を作り、多様な人材が結集し、家庭や学校、地域社会、産業界、行政が連携し、人づくりをまちづくりに繋げていきたい。



中島 和彦 議員

**問**

「生涯活躍のまち」具体的な想定は

中心市街地に多世代コミュニティの実現



**問** 暮らしの中に楽しみを見出す「生涯活躍のまち」事業。コンセプトは「人生100年型多世代交流コミュニティの実現」具体的な想定とはどのような事か。

**市長** 誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに取り組む。また実施のプロセスをどのように進めるのか。

組み、多世代コミュニティの実現を目指す。人と人がつながる機会をJOCAや地域の皆さまと一緒に考え

つくっていきたい。またプロセスとしては、JOCAによるゴッチャウェルネスは来年度中頃のオープン。健康をテーマに地域の人と人を結びつける場となり、障がい者の就労

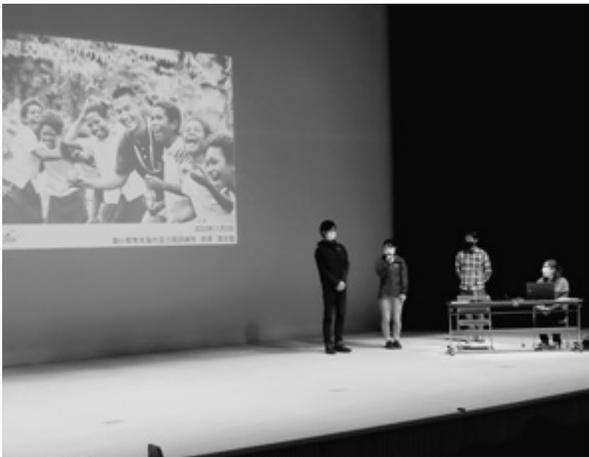
利用者と交流し、支え合う仕組みづくりにつながる。地域交流スペース、カフェなどの整備を予定する。

**問** 推進協議会を立ちあげますが、市としては、どのように関わるのか。

**市長** 関係していただく皆さまと連携を図りながら事業を進めていく。JOCAと協力してまちづくりを進める。この機会に公共施設の再編やまちなかの活性に向けた取り組みを検討する。

**問** 駒ヶ根ならではの特色となる魅力の源泉は。

**市長** アルプスのまちを楽しむ機会を増やし、国際交流や大使村の推進、駒ヶ根らしさを発信する取り組みに一層力を入れ、市民が楽しみ、わくわくする要素も取り入れ、この取り組みをわかりやすく発信していく。



JOCA、JICA 駒ヶ根との交流イベント (地域の魅力発信イベント駒ヶ根フットパスにて)



小原 晃一 議員

**問**

市内基幹病院のPCR検査の状況は

**答**

発熱外来で平日昼間最大12人可能



**問** 市内の基幹病院のPCR・抗原検査機器の導入状況と検査体制および1日の検査可能数はどんな状況か。

**民生部長** 昭和伊南総合病院ではPCR・抗原両検査機を備え、症状に応じ季節性インフルエンザ検査も同時に実施。発熱外来では事前予約で1日最大12人枠での運用をしている。

**問** 新検査機を導入し検査を必要とする人に優先的にPCR検査を行う考えは。

**民生部長** 検査体制は県が整備することになっている。診療検査体制の強化を県に要望していく。

**問** 高収益作物次期作支援交付金の交付要件の内容と今後の支援策はあるのか。

**産業部長** 交付要件は事業

開始が4月30日から10月30日の間に次期作に向け、すでに新たな機械や施設の整備、資材などの購入発注済の農家を対象に減少分を上限に支援する内容。今後この交付金に相当する市単独の支援策は、現在のところ考えていない。

**問** 雪害対策行動計画の見直しはされているか。中心市街地の除雪状況と市内の自主除雪の課題は何か。

**建設部長** 平成26年豪雪を教訓に幹線道・通学路・要配慮者宅・水路の溢水対策を柱に、議会をはじめ関係者で防災対策会議を設け、27年「地域防災計画（雪害対策編）」で見直し済み。伊那建設事務所と相互除雪の提携をし、効率的に除雪を実施。高齢化と担い手不足があり課題を共有したい。



昭和伊南総合病院発熱外来  
最初はかかりつけ医へ相談。その後、基幹病院へ

**問** 音楽を通して生きる力を育む弦楽器教室のエル・システム事業の継続を求め

る。継続に財政面、民間との関連など、形態や運営などにさまざまな意見もある

が、他の市町村には無い子育て支援の特徴的取り組みである。現状と考え方は。

**教育長** 子どもの集中力が増し、達成感が得られたと

感じる。中心市街地での展開をどのように市全

体



加治木 今 議員

**問**

特徴あるエル・システム事業の継続は

**答**

補助金の計画期限に継続の可否を検討



感想がある。文化庁補助金とふるさと寄附を財源に進めている。補助金計画の最終期限である令和4年度には継続の可否を検討する。

**問** 生涯活躍のまちづくりは住民全体で進めたい構想。拠点施設建設が銀座通りで始まる。駐車場が不足しているが対応は。中心市街地での展開をどのように市全

体

に広げていくのか。

**市長** 駅前立体駐車場を利用し歩くことで市街地の滞在時間が長くなることが大切。限られた資源で最大限の効果を出すため中心市街地で進めるが健康増進や障がい者の就労を広げるようJOCAと検討していく。

**問** 当市には看護大学、JICA、JOCA、西駒郷

がある。これらと連携してより駒ヶ根らしい国際化などの取り組みを進めるべきだと考え議員連盟も動いているが、市としての見解は。

**市長** 西駒郷とは障がい者の就労で県とJOCAと連携していく。それぞれの機能をまちづくりに活かしていく事は重要。連携を進めるために4者による国際化と健康をキーワードにした意見交換の場を作る。



エル・システム子ども音楽祭2019 in 駒ヶ根とレッスン風景  
お互いの音を聞いて合わせ皆と一緒に音楽に参加する仕組みのエル・システム



ICT教育で学習の可能性が広がります！

**問** これから、よりICTを活用した教育の取り組みがされていくが、人脈豊富な伊藤市長によるICT教育の人材紹介はあるのか。  
**教育長** 地元の企業を含めた人材を活用し、地域の皆さんに、ICT教育を支えてもらう。現段階では、市長による人材の紹介はない。  
**問** 伊那市や南箕輪村はイ

ンフルエンザの予防接種への補助を中学3年生にした。市でも感染対策に中学3年生に応援金が出せないか。  
**市長** コロナ禍で日常生活にさまざまな不都合を全市民の方が感じている。中学3年生だけを対象にした補助金の支給は考えていない。  
**問** 安全を優先した整備を

と要望した文化センター北側駐車場で事故が起きた。予算削減と市民の安全の両立に不安があるが考えは。  
**市長** 財政健全化は最優先課題である。そのなかで市民の安全安心に関わる事柄は適切な状況把握で優先順位をつけている。財政状況が厳しいからと言って後回しにすることは決してない。  
**問** 安全を求めたが、結果として事故が起きている。答弁と現実が違うのでは。  
**教育次長** 駐車場は優先順位が低く後にした。財政健全化とは別の問題である。  
**問** リニア新幹線のルートについて、静岡県を通らず長野県に舵を切ったルート

の再考を提案する考えは。  
**市長** 現段階では静岡工区の問題が解決されることが重要と考える。今後の推移を見守っていく。



松崎 剛也 議員

**問** 小・中学生のICT教育の  
**答** これからは  
 ICTが教育の多様な場面で使われる



## 令和2年第8回駒ヶ根市議会臨時会 議案等審議結果

### ●市長提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第79号	令和2年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	全会一致	総務産業
議案第80号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更について	原案可決	全会一致	総務産業

## 令和2年第9回駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

### ●市長提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第81号	駒ヶ根市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第82号	令和2年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第9号）	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第83号	令和2年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第84号	令和2年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第85号	令和2年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第86号	駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第87号	駒ヶ根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第88号	駒ヶ根市市税以外の諸収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例及び駒ヶ根市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第89号	令和2年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第10号）	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設

※印は関連審査を行った委員会

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第90号	令和2年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第91号	令和2年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第92号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第93号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第94号	令和2年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第11号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第95号	自動車物損事故に係る損害賠償の額を定めることについて	原案可決	全会一致	教育民生建設

※印は関連審査を行った委員会

●議員提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議 第9号	駒ヶ根市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	全会一致
議 第10号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	原案可決	全会一致

賛否が分かれた議案等に対する  
会派別議員別賛否

番号	件名	明鏡会		あかつき			至誠会				無会派			採決結果			
		氣賀澤葉子	松崎剛也	三原一高	竹村知子	宮下稔	小原茂幸	小原晃一	池上善文	中原茂之	小林敏夫	塩澤康一	中島和彦		池田幸代	加治木今	竹村 誉
陳情 第9号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書 【教育民生建設委員会での審査結果：一部採択】	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	一部採択 (賛成12 反対2)

○は委員会審査結果に賛成、×は委員会審査結果に反対。なお、議長は賛否同数の場合以外は採決に加わりません。

議第10号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック（感染爆発）は、日本国内でも大きな影響を広げました。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」などが取りざたされ、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足などです。

21世紀に入り、わずか20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして今回の新型コロナウイルス感染症と、新たなウイルス感染症とのたたかいは短い間隔で求められ、今後も新たなウイルス感染症への対応が必要になることは明らかです。

新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、そして新たなウイルスの感染拡大や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記の事項について国に要請します。

- 記 1 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
- 2 地域医療構想実現に向けては、新型コロナウイルス感染症への対応等、個々の病院が果たしている役割を適切に評価するとともに、病院は非常に大事なインフラであるという認識の下に、地域の実情、地域の声を踏まえたものとなるようにすること。
- 3 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職・保健師等の人員を適正に増員すること。
- 4 公衆衛生行政の充実を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【提出先】衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 財務大臣 総務大臣

# 委員会審査報告

## 総務産業委員会

〔11月2日開催〕第8回駒ヶ根市議会臨時会で付託された2議案すべてを可決。  
〔11月27日・12月15日開催〕第9回駒ヶ根市議会定例会で付託された7議案すべてを可決。

●議案第79号 令和2年度駒ヶ根市  
一般会計補正予算（第8号）

公共施設などのWiFi環境整備

**問**

今回の補正予算により地域交流センター（赤穂公民館）の各部屋にWiFi環境が整備されるのか。

**答**

現在の計画では各部屋に整備予定である。

●議案第80号 公の施設の指定管理者の指定期間の変更について

指定管理者の変更

**問**

効果的な運用・管理が図られるようこれまでにファームスに対して、必要な指示をしてきたか。

**答**

駒ヶ根ファームス運営協議会に市も入り検討してきたが、JAの販売商品の取り扱いなどについては

立ち入っていない。

●議案第82号 令和2年度駒ヶ根市  
一般会計補正予算（第9号）

地域生活交通事業者支援金

**問**

雇用調整助成金により市内の交通事業者の雇用維持・安定が図られているか。

**答**

2月までの延長について国が制度設計をしており、市もコロナ対策で上乗せ助成をしている。雇用に加え周辺への影響を考慮し当支援金により経済の立て直しを図りたい。

GOTOこまがねウエディング  
支援金

**問**

支援金の対象はどのようなケースか。また、駒ヶ根市に住民票があることが前提か。

**答**

挙式・披露宴を同時に行わなくても対象となるよう考えている。対象となるカップルは、当市で披露宴などを実施された人になるため、市民でなくてもよい。

●議案第89号 令和2年度駒ヶ根市  
一般会計補正予算（第10号）

マイナポイント

**問**

当市のマイナンバーカードの発行状況は。マイナポイントの設定など、アドバイスはしているか。

**答**

11月末時点で約18%。窓口ではカード発行からポイント申し込みを一連で支援し、ポイントなどの相談も受け付けている。

若者住宅取得補助

**問**

若者住宅取得事業について、どういう魅力があつて駒ヶ根市へ来たのかなど分析しているか。

**答**

対象者からアンケートを取り、魅力をどう感じているかなど分析していきたい。

●議案第92号 公の施設の指定管理  
について

駒ヶ根キャンプセンター、森と水の  
アウトドア体験広場の指定管理

**問**

新たに指定管理者となる駒ヶ根リゾートマネジメント株式会社から、具体的な誘客についてどのような提案がされているか。

**答**

旅行会社との連携をはじめ、地元の方々にもしつかり使っていただきたいという思いから、ボーイスカウトの体験キャンプや地元向けに秋冬イベントの開催、アウトドアを活用した企業研修などの提案がある。

**問**

アウトドア体験広場のアルプス体験館、スケートボードパーク、3on3バスケットコートなど老朽化部分が多くあり危険を感じるが、その点に関していかがか。

**答**

老朽化部分については、限られた予算で対応してきている。まだまだ足りない部分もあり、利用者の安全を第一に考えて優先順位をつけて対応していきたい。

# 教育民生建設委員会

〔11月27日・12月16・22日開催〕第9回駒ヶ根市議会定例会で付託された11議案すべてを可決。陳情1件を審査。

●議案第82号 令和2年度駒ヶ根市  
一般会計補正予算（第9号）

## ひとり親世帯給付金の追加給付

**問** ひとり親世帯臨時特別給付金の追加給付の申請者の割合を、国は8割を見込んでいるとのことであるが、当市の申請はどのくらいか。

**答** 当市の追加給付全対象者は201人で、8割だと161人になる。現在89人の申請がある。未申請者には、個別通知や市報で知らせていく。

## 修学旅行などのキャンセル料支援

**問** 修学旅行などのキャンセル料を支払うとのことだが、小・中学校の修学旅行などの中止や延期の状況は。

**答** 市内小中学校の修学旅行は実行した学校を除き、延期をしている。中止となったのは中沢小学校と東伊那小学校の臨海学習で、それ以外は延期になっている。赤穂南小学校は全て実施済みである。

●議案第89号 令和2年度駒ヶ根市  
一般会計補正予算（第10号）

## 扶助費の追加補正

**問** 要保護・準要保護の対象児童数の増加で扶助費を追加補正しているが、何人増え、今後の予想は。

**答** 予算比較で22人増加。コロナ禍で、来年度も増えるのではないかと予想している。

## 中学校への手すりの設置

**問** 赤穂中学校への手すり設置を今回の補正で行うということであるが、理由は。

**答** バリアフリーの一環として行う。エレベーターの設置を行う予定であるが、間に合わないため、まず手すりの設置を行うものである。



マスクをしよう



かんきをしよう

●議案第90号 令和2年度駒ヶ根市  
介護保険特別会計補正予算（第3号）

## 介護保険保険者努力支援交付金

**問** 介護の重度化防止などの取り組みが県内トップの評価であり、その評価点により努力支援交付金が交付された。職員間や市内の介護従事者の間で、モチベーションが上がるような取り組みはされているか。

**答** 今年初めての交付なので、今後は情報を共有していきたい。

**問** 介護保険料が引き上げになるとき、努力者支援金で保険料のアップ率を抑えることは可能か。

**答** 給付費が大きくなったときの取り崩しの財源にはなる。交付金が多くなることで、保険料の抑制に繋がると考えている。

●議案第92号 公の施設の指定管理  
について

## 施設の指定管理

**問** 文化財団が駒ヶ根文化センターとすずらん公園の指定管理となるわけだが、管理面以外の主催事業などの効果的運営についてはどのように考えているか。

**答** 主催事業については、市内にある市民団体との共催なども考えている。文化財団は、市の文化振興のために設立されたという経緯がある。市内の団体との連携も大切にしながら、効果的運営も考えていきたい。

●陳情第9号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

**一部採択討論** 保健所の増設と社会保障に関わる国民負担の軽減を図ることとは、整合性がないため認められないということの一部採択とする。

**採択討論** コロナ禍の中で医療現場の大変な縮図がこの陳情の中にある。保健所に関しては、この間減らされ続け、長野県でも10カ所、上伊那では伊那保健福祉事務所だけである。コロナ禍で生活実態が大変な中、社会保障に関わる国民負担のお金は軽減していくべきで、採択とする。

一部採択（一部採択多数）



駒ヶ根市社会福祉協議会との  
意見交換会



駒ヶ根市社会福祉協議会との意見交換会

11月、市議会は、駒ヶ根市社会福祉協議会（社協）との意見交換会を、市役所会議室にて行いました。

当日は、有賀会長の挨拶を受け、増加する一人暮らしの高齢化世帯や地域が抱えている課題などをお聞きしました。

松井事務局長からは社協の現状や、コロナ禍により障がい者化する高齢者などについて状況説明がありました。

地域福祉事業については、宮崎地域福祉振興課長より、コロナ禍により地域でのサロンが停滞するなか、出前サロンによる高齢者の心身機能低下防止、サロンの担い手へのフォローアップ、高齢者の生活不安に関する調査の実施など、事業説明を受けました。

障害者支援事業に関して、自立支援センターたんぽぽの家の北澤所長より、障がい者の就労機会の創出と農福連携事業、身体障害者福祉協会解散後の影響と高砂園の指定管理について、有償運送や宅福便事業などを地域で支える事業について意見を交えました。

介護保険事業に関しては、堀越介護保険施設課長より、社協らしい介護保険事業の在り方や使命、デイサービスセンターや障がい者グループホームの状況、老朽化する施設の実情などをお聞きし、理解を深めました。

その他、伊藤地域振興課長から、生活福祉資金貸付事業や災害時ボランティアセンター開設運営準備の状況などをお伺いしました。

また、社協と議会の連携についても提言され、予定した2時間では収まらない内容となり、大変有意義な会となりました。

議員研修報告

伊那谷三市議会議員研修会

飯田市・伊那市・駒ヶ根市の市議会で構成する伊那谷三市議会連絡協議会は、11月17日、駒ヶ根市地域交流センターホールにて61人が参加し、議員研修会を開催しました。

内容は、昨年開催された駒ヶ根ONSEN・ガストロノミーの紹介や、東京学芸大学名誉教授の小泉武栄先生による「中

また、日本の山と世界央アルプスの国定公園化をめぐる」と題しての講演会でした。

小泉先生は豊富な写真や資料をもとに、「中央アルプスの宝物」として、木曾駒花崗岩、水河地形、氷河湖、岩塊斜面、コマウスユキソウ、線状窪地、ペープメントなどを解説されました。



また、日本の山と世界の山の比較を行い、国定公園化された中央アルプスの魅力を改めて認識することができました。

議会の主な動き

10月

- 2日 市議会全員協議会(ファシリテーター研修)
- 10日 市民と議会による意見交換会

11月

- 2日 11月臨時議会
- 6日 市議会全員協議会  
(駒ヶ根市社会福祉協議会との意見交換会)  
【P15】
- 17日 伊那谷三市議会議員研修会【P15】
- 27日 市議会12月定例会開会  
(～12月22日)【P4-P14】

12月

- 2日 駒ヶ根市議会事業評価における要望・提言書を市へ提出【P2-P3】
- 11日 市議会12月定例会一般質問(14日)
- 22日 市議会12月定例会閉会

上記のほか、議会運営委員会などを開催しています。

# 市民と議会の意見交換会を開催しました

今回で10回目となる意見交換会を10月10日(土)に駒ヶ根駅前ビルアルパを会場に開催しました。

総務産業委員会は、「地域の困りごと」をテーマに3グループに分かれ、ワークショップ形式により実施しました。自治会に関すること、新型コロナウイルス感染症対策、公共交通、農業、空き家対策など多くの意見をいただきました。特に、猿による農作物被害が広範囲にわたる深刻化していることへの意見が多く、現状や課題、今後の対策などについて意見交換を行いました。

ました。

教育民生建設委員会は、小中学校PTAの皆さまを対象に「教育に関すること」をテーマに実施しました。コロナ禍での学校教育の心配事、ICT教育・英語教育の導入についてなど多くの意見をいただきました。皆さまからいただきましたご意見・ご要望は、委員会ごと整理・検討し、担当課との懇談を行う中で、情報の共有を行います。



## モニター通信

(議会だよりNo.87の意見・感想など)

市議会では、昨年7月発行議会だよりから、議会広報モニターを設置し、より多くの市民の皆さまに読んでいただける議会だよりになるよう、ご意見・ご感想をいただいています。

その中の、一部を掲載いたします。貴重なご意見などを参考に、市民の皆さまによりよい議会だよりをお届けできるようにします。

### ☆ 紙面の構成について ☆

- 議会だよりそのものが堅いイメージが強く、「ホッ」とするページがほとんどない。読んでいて気休めになる記事が欲しい。  
【特集ページの構成を変えてみました】
- 審査などの流れや委員会の説明をイラストなどで分かりやすく説明するコーナーが毎回ほしい。中学生程度の市民が分かるように、大人が分かるように。
- 全ての市民が全ての内容を見る事は基本的に不可能。読者が欲しい内容が一目でわかるようなサマリー(概要)が最初にあると思う。

### ☆ 特集ページ ☆

- 前回より読みやすく、分かりやすくなったと思う。特集ページに記載する内容の充実化(ページ数増も含めて)を期待する。

### ☆ 一般質問 ☆

- 構成の変更は読みやすくなり、良くなったと思う。QRコードから各議員の一般質問を閲覧できるのは良いと思う。一般質問記事のトップに《一般質問項目》があるのは見たい記事がすぐ探せるので便利である。

### ☆ 委員会審査報告 ☆

- 前回「委員会審査報告」の段組みについて提案したところ、すぐに取り入れていただいた。読みやすくなったと感じる。

## 議会傍聴に おいでください!

団体や個人で傍聴においでいただける方が増えております。ありがとうございます。  
どうぞお誘いあってお気軽にお越しください。

**個人で傍聴** 予約は必要ありません。

**団体で傍聴** 議会事務局へお申し込みください。



— 議会日程は、議会ホームページをご覧ください —

## 編集後記

昨年から続く新型コロナウイルスで、年末年始も対策に奮闘しておられる皆さまのことを思うと、「おめでとうございました」とごあいさつをしてよいのか迷う新年です。議会もコロナ対策について真剣な議論をしています。

議会だよりは、議会の活動についてお届けするもので、委員を中心に分かりやすい紙面づくりのために努力をしています。昨年より市民の皆さまの中から議会だよりモニターとしてのご参加もあり、忌憚のないご意見をいただき、より良い議会だよりを、そして議会の活性化も目指します。

本年はコロナ感染が収束し新たな生活スタイルで、希望を持ち活力に満ちた駒ヶ根市へと変わっていくことを期待します。

広報広聴委員会

(中原茂之)

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
松崎	中原	竹村	竹村	氣賀澤	池上	塩澤	小原
剛也	茂之	知子	葉子	善文	康一	茂幸	